次世代シニアと現在形シニア

その意識と行動

NEXT OLD ≠ NEW OLD

◎2020年を過ぎる頃から現在の50代は、65歳以上の高齢者の仲間入りをし始めます。今の50代が高齢者の仲間入りをすると超高齢社会はどのように変わるのでしょうか？また、高齢者にとっての幸せや生きがいとは、何なのでしょうか？

▼公益財団法人ハイライフ研究所では、この先の超高齢社会を見据えた研究を行う一環として50代から70代前半男女の生活行動、生活意識調査を実施いたしました。（調査概要を参照）。

▼ここでは、その調査結果の一部を連載コラムとしてご紹介いたします。

「次世代シニア（50代）」と「現在形シニア（60代後半から70代前半）」の年代間比較、男女間比較、ときにそのハザマとなる60代前半の特徴なども織り込みながら、それぞれの意識や行動をお伝えいたします。

▼また、「仮説的」な読み解きや、「一生活者」として感じた生きるためのヒントなども添えていきたいと考えていますので、ぜひご一読下さい。

公益財団法人ハイライフ研究所

＜ハイライフ研究所「次世代高齢者調査」調査概要＞
①調査対象　東京30km圏に居住する満51歳～75歳の男女
②標本数（有効回収数）500　51～55歳・56～60歳・61～65歳・66～70歳・71～75歳　男女計各100
③標本抽出法　エリアサンプリング法　④調査方法　留置法（訪問調査）　⑤調査時期　平成28年10月～11月

次世代シニアと現在形シニア

その意識と行動

NEXT OLD ≠ NEW OLD

第十回

それ行け！

「お楽しみ」は、

これからだ。

第十回
それ行け！
「お楽しみ」はこれからだ。

◇◆調査対象・言葉の定義◆◇

次世代シニア（51歳から60歳）　　現在形シニア（66歳から75歳）

■家族の団欒、親しい友人との交際。「楽しみ」は人にあり。
次世代シニアは仕事、現在形シニアは身近なことに楽しみを見出す。

■「親しい友人や仲間との交際」は女性のほうが活発に楽しんでいる。
次世代シニア男性には「ひとりの時間を好きな場所で過ごす」願望。

■次世代・男性
=人生後半戦へ向けて「続く楽しみ」の発掘と再編。
次世代・女性
=人生後半戦の楽しみを確立、さらなる広げに意欲。

■現在形・男性
=仕事離れ・家族離れで、外界の眺めを楽しむスタイル模索。
現在形・女性
=家族減、体力減の中で、その先の人生を思い描く。

■ 人生に効く楽しみ。
学びがあり、飽きずに続けられ、人とのつながりが芽生える楽しみ。

NEXT OLD ≠ NEW OLD

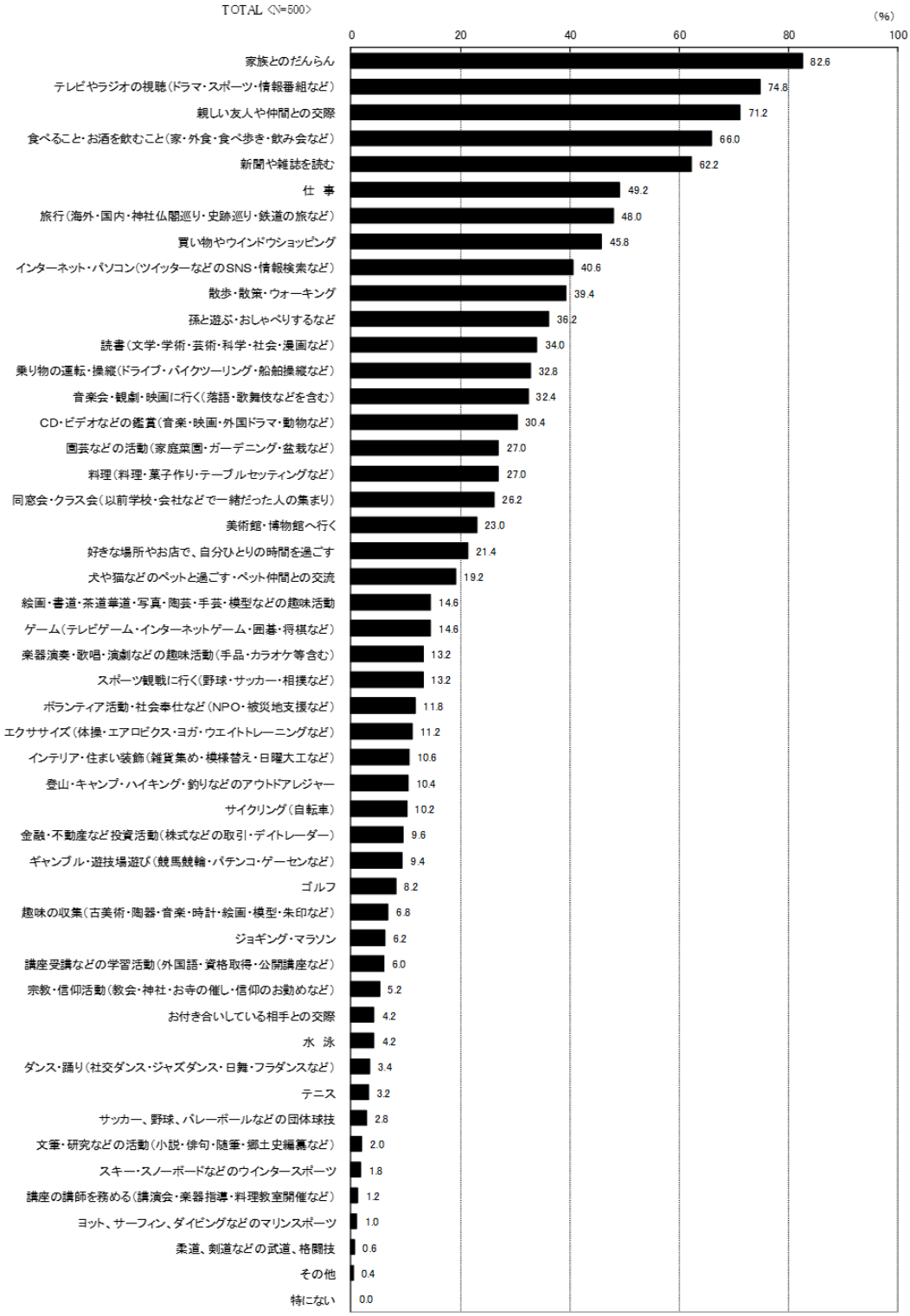
第十回 それ行け！「お楽しみ」はこれからだ。

連載第十回は次世代高齢者調査結果より「楽しみ」についてご報告いたします。今回はハイライフ研究所刊「次世代高齢者研究報告書～変化し続ける高齢者意識の研究・世代や年代の差異がもたらすもの～」の内容の一部を再掲しつつ調査結果について私見を交えながらご報告いたします。では早速、現在形シニア（66歳～75歳）と次世代シニア（51歳～60歳）の「楽しみの世界」へご案内いたしましょう！

１．「現在、楽しみを感じて行っていること、今後行いたいこと」

①様々な楽しみをひとつの俎上に乗せて行動率をみる

家族の団欒、親しい友人との交際。「楽しみ」は人にあり。



「楽しみを感じて行っていること」を、まず大きくとらえるために、趣味などにとどまることなく家族との団欒や人との交流、仕事など選択肢を広げ、回答を求めました。まず俯瞰する意味で51歳から75歳までの男女全体（n 500）の行動率を示した左のグラフをご覧下さい。

①家族との団欒 82.8% ②テレビやラジオの視聴 74.8% ③親しい友人や仲間との交際 71.2% ④食べること・お酒を飲むこと 66.0% ⑤新聞や雑誌を読む 62.2% までが半数を超えています。

普段、気楽にできる日常的な楽しみということも言えますが、「楽しみは人にあり」ということを強く感じます。テレビや新聞といった媒体接触は一人の行動を含みますがその先には「話題」の種が存在します。一人の時間を楽しむ、創作に一人没頭する、という楽しみ方も様々な行動に分散しつつ多く散見されますが、それも人との交流が一方にあってのこと。人を楽しくさせるのは人、その媒介や補助線となるのが趣味やスポーツなどではないでしょうか。

NEXT OLD ≠ NEW OLD

②次世代シニアと現在形シニアの楽しみの現在

次世代シニアは仕事、現在形シニアは身近なことに楽しみを見出す。

次世代シニアと現在形シニア各男女の「現在、楽しいと感じて行っていること」を率の高いものからランキングしました。まず男性の年代間を見比べてみましょう。

上位にランクされた行動のうち、次世代シニアが顕著に高いのが「仕事」です。その他「食べることお酒を飲むこと」「インターネット・パソコン」など現在形シニアとの差が大きい項目をみると「仕事とその周辺に楽しみを見出す」傾向をうかがわせます。一方で現在形シニアが相対的に高いのは「新聞や雑誌を読む」「孫と遊ぶ」「散歩・散策・ウオーキング」など、身近な楽しみが目立ちます。「親しい友人や仲間との交際」「同窓会」などが高いのは、仕事外の交流が活発化する表れでしょう。とはいえ現在形シニアでも「仕事」は40%と決して低くありません。高齢の就業者は今後、増えていくと思われますが“楽しみを感じて”仕事をすることは、心身の健康面からみても、ますます重要度を増すことが想定されます。

現在楽しいと感じて行っていること　　単位：%

	次世代シニア・男性 51歳～60歳		現在形シニア・男性 66歳～75歳	
1	家族とのだんらん	86	家族とのだんらん	82
2	食べること・お酒を飲むこと	74	テレビやラジオの視聴	74
3	仕事	68	親しい友人や仲間との交際	66
4	テレビやラジオの視聴	66	食べること・お酒を飲むこと	64
5	親しい友人や仲間との交際	57	新聞や雑誌を読む	64
6	インターネット・パソコン（SNS・情報収集等）	53	孫と遊ぶ・おしゃべりする	55
7	新聞や雑誌を読む	52	散歩・散策・ウオーキング	52
8	乗物の運転・操縦	49	旅行（海外・国内・神社仏閣史跡めぐり等）	49
9	旅行（海外・国内・神社仏閣史跡めぐり等）	43	乗物の運転・操縦	41
10	読書（文学・学術・芸術・科学・漫画等）	37	仕事	40
11	散歩・散策・ウオーキング	32	インターネット・パソコン（SNS・情報収集等）	36
12	買物やウインドゥショッピング	31	同窓会・クラス会	35
13	CD・ビデオなどの鑑賞	31	園芸などの活動	32
14	音楽会・演劇・映画に行く	26	買物やウインドゥショッピング	28
15	同窓会・クラス会	25	読書（文学・学術・芸術・科学・漫画等）	26

同様に女性を年代間で比較しましょう。次世代シニアで顕著に高いのは男性同様「仕事」となります。その他では「買物やショッピング」「食べること・お酒を飲むこと」「音楽会・演劇・映画に行く」などです。現在形シニアが相対的に高いのは「孫と遊ぶ」「園芸」「散歩・散策・ウオーキング」、ランキング外では「楽器演奏・歌唱演劇など趣味活動」が高くなっています（現在形シニア25%・次世代シニア10%）。

現在楽しいと感じて行っていること　　単位：%

	次世代シニア・女性 51歳～60歳 n100		現在形シニア・女性 66歳～75歳 n100	
1	親しい友人や仲間との交際	83	親しい友人や仲間との交際	83
2	家族とのだんらん	82	テレビやラジオの視聴	80
3	テレビやラジオの視聴	80	家族とのだんらん	78
4	買物やウインドゥショッピング	73	新聞や雑誌を読む	69
5	食べること・お酒を飲むこと	71	食べること・お酒を飲むこと	58
6	仕事	66	孫と遊ぶ・おしゃべりする	57
7	新聞や雑誌を読む	64	買物やウインドゥショッピング	52
8	音楽会・演劇・映画に行く	52	旅行（海外・国内・神社仏閣史跡めぐり等）	50
9	インターネット・パソコン（SNS・情報収集等）	51	散歩・散策・ウオーキング	40
10	旅行（海外・国内・神社仏閣史跡めぐり等）	49	読書（文学・学術・芸術・科学・漫画等）	40
11	料理	47	音楽会・演劇・映画に行く	39
12	CD・ビデオなどの鑑賞	40	園芸などの活動	37
13	読書（文学・学術・芸術・科学・漫画等）	39	料理	33
14	散歩・散策・ウオーキング	34	美術館・博物館へ行く	29
15	美術館・博物館へ行く	34	CD・ビデオなどの鑑賞	27

③男性と女性・楽しみの現在比較

「親しい友人や仲間との交際」は女性のほうが活発に楽しんでいる。

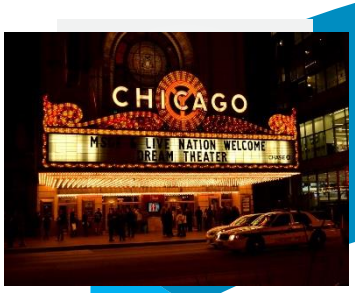
ここまで次世代シニア、現在形シニアの楽しみのあり方をみてきたとき、気になるのが男女の傾向の違いです。次の数式をご覧下さい。何だと思われますか？Ａは次世代シニアに関わるものです。その答えは「（楽しいと感じて行っている）親しい友人や仲間との交際」の行動率です。左数字が女性の%、中数字が男性の%、右数字は左から右を減じた両者の差です。女性のほうが多いということです。次世代シニアでは女性が+26%となっています。

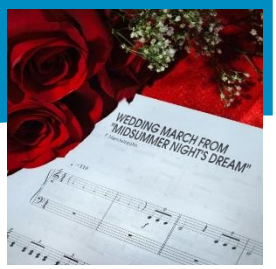
A　83－57＝26

では同様のルールに則った下の数式は、何の行動率の男女差を示したものでしょうか。答えは「音楽会・観劇・映画に行く」です。第二に挙げられるのが、前頁でみてきたように仕事周りに楽しみを見出す次世代シニア男性に対して、女性の場合、先々につながる外での楽しみや「行く場所」を得ているということです。

A　52－26＝26

第三には、女性の場合「料理」という日常の家事、生活技術も「楽しみ」として挙げている点です。男性は「将来を見据えた楽しみ」や「新たな交流の獲得」を意識し準備することがより求められるのではないかと考えさせられます。





NEXT OLD ≠ NEW OLD

④次世代シニアと現在形シニアの楽しみ・今後の意向

次世代シニア男性の「ひとりの時間を好きな場所で過ごす」願望。

次に「今後（も）行いたいこと」をみていきましょう。まず男性の年代間を見比べてみましょう。「現在、行っていること」で確認した両者の差と同様の傾向がみられる中で、ひとつ着目したいのが次世代シニアのランキング表12位の「好きな場所やお店で自分ひとりの時間を過ごす（28%）」です。現在形シニアではランク外の11%でその差は17%あります。「現在行っている」の約2倍の開きがあります。次世代シニアの「仕事に追われている現状から離れ、ゆっくりと自分の時間を味わいたい」という欲求が数字の開きとなって表れたのでしょう。

次に女性の年代間をみると、やはり全般に「現在、行っていること」と同様の傾向が見られる中で、「家族とだんらん」と「同窓会・クラス会」の差（次世代シニア＞現在形シニア）が広がっています。これは、現在形シニアの値が「現在、行っている」ものより低下したことによります。「家族とのだんらん」においては、子どもの独立や夫との死別など家族環境の変化、「同窓会・クラス会」も同様に友人との死別や、「出席してはみたけれど楽しめなかった・・」といったことが要因ではないかと推察されます。

今後行いたいと思うこと（今後も、又は新たに）　単位：%

	次世代シニア・男性		現在形シニア・男性	
	51歳～60歳		66歳～75歳	
1	家族とのだんらん	81	家族とのだんらん	73
2	食べること・お酒を飲むこと	66	親しい友人や仲間との交際	65
3	親しい友人や仲間との交際	61	旅行（海外・国内・神社仏閣史跡めぐり等）	57
4	仕事	58	テレビやラジオの視聴	55
5	テレビやラジオの視聴	55	食べること・お酒を飲むこと	51
6	旅行（海外・国内・神社仏閣史跡めぐり等）	49	孫と遊ぶ・おしゃべりする	49
7	新聞や雑誌を読む	44	散歩・散策・ウオーキング	49
8	インターネット・パソコン（SNS・情報収集等）	42	新聞や雑誌を読む	49
9	乗物の運転・操縦	39	乗物の運転・操縦	35
10	散歩・散策・ウオーキング	35	同窓会・クラス会	34
11	読書（文学・学術・芸術・科学・漫画等）	29	仕事	33
12	好きな場所やお店で自分ひとりの時間を過ごす	28	インターネット・パソコン（SNS・情報収集等）	31
13	同窓会・クラス会	27	音楽会、観劇、映画に行く	30
14	CD・ビデオなどの鑑賞	27	園芸などの活動	26
15	音楽会、観劇、映画に行く	26	読書（文学・学術・芸術・科学・漫画等）	26

今後行いたいと思うこと（今後も、又は新たに）　単位：%

	次世代シニア・女性		現在形シニア・女性	
	51歳～60歳 n100		66歳～75歳 n100	
1	家族とのだんらん	84	親しい友人や仲間との交際	76
2	親しい友人や仲間との交際	76	家族とのだんらん	65
3	食べること・お酒を飲むこと	68	孫と遊ぶ・おしゃべりする	52
4	テレビやラジオの視聴	64	テレビやラジオの視聴	52
5	買物やウインドゥショッピング	63	買物やウインドゥショッピング	43
6	旅行（海外・国内・神社仏閣史跡めぐり等）	60	新聞や雑誌を読む	41
7	音楽会・演劇・映画に行く	55	音楽会・演劇・映画に行く	40
8	仕事	53	散歩・散策・ウオーキング	36
9	新聞や雑誌を読む	52	読書（文学・学術・芸術・科学・漫画等）	31
10	インターネット・パソコン（SNS・情報収集等）	46	園芸などの活動	30
11	美術館・博物館へ行く	39	美術館・博物館へ行く	30
12	CD・ビデオなどの鑑賞	38	料理	29
13	同窓会・クラス会	37	同窓会・クラス会	23
14	読書	37	絵画・書道・茶道華道などの趣味活動	20
15	料理	36	CD・ビデオなどの鑑賞	20

2．シニアの「楽しみ」～今後の広がりと縮み

それぞれの年代の「現在の楽しみ行動」をみてきました。では、次世代シニアと現在形シニアの今後の楽しみはどこへ向かうのでしょう。

次世代高齢者調査で「現在楽しいと感じて行っていること」と「今後（も）行いたいこと」をみてきました。その「現在と今後の意向の差」という心の動きから「どこへ向かうのか」という問いにアプローチいたしました。また、「楽しみ」の内容については選択肢を分類してまとめ、その累計値を用いて分析しました。ジョギング、ゴルフなどの「スポーツ系」や、が楽器演奏、絵画、文筆などの「文化・創作・技能習熟系」の楽しみは、選択肢において分野を細分化しているため大きな傾向を掴む狙いで大分類にまとめました。分類構成については下記を参照下さい。

【◆分類　（）内は分類に含めた選択肢】

◆家族団欒（・家族とのだんらん・孫と遊ぶ、おしゃべりをする）◆友人交流（・親しい友人や仲間との交際・お付き合いでいる相手との交際・同窓会クラス会）◆飲食（・食べること、お酒を飲むこと）◆買物散歩（・好きな場所やお店で自分ひとりの時間を過ごす・犬や猫などペットと過ごす・買物やウィンドウショッピング・散歩散策ウオーキング）◆四媒体（・テレビやラジオの視聴・新聞や雑誌を読む）◆スポーツ（・ジョギング マラソン・水泳・テニス・ゴルフ・サッカー 野球 バレーボールなどの団体球技・スキース ノーボードなどのウイタースポーツ・ヨット サーフィン ダイビングなどのマリンスポーツ・柔道 剣道などの武道 格闘技・エクササイズ・ダンス 踊り）◆登山 アウトドア（・登山 キャンプ ハイキング 釣りなどのアウトドアレジャー）◆乗物運転（・サイクリング・乗物の運転操縦）◆旅行（・海外 国内 神社仏閣巡り史跡巡り 鉄道の旅など）◆文化創作技能習熟（・楽器演奏 歌唱 演劇など・絵画 書道 茶道 華道 写真 陶芸 手芸 模型など・文筆 研究など・園芸・料理・インテリア住まい装飾）◆文化鑑賞 スポーツ観戦（・スポーツ観戦・音楽会 観劇 映画・美術 博物館）◆遊戯（・ゲーム・ギャンブル）◆趣味の収集◆教養信仰社会（・講座・講師・信仰・ボランティア活動）◆読書 音楽ネット（・CDビデオ
鑑賞・読書・ネットPC）◆仕事（・仕事）

「楽しみ」～今後の広がりと縮み

数値単位は（%）	楽しみ群	家族団欒	友人交流	買物散歩	スポーツ	登山アウトドア	旅行	文化創作技能習熟	文化鑑賞スポーツ観戦	教養信仰社会	仕事	飲食	四媒体	読書音楽ネット	運転ドライブ
	（）内数字は調査の選択肢	家族団欒・孫と遊ぶ(2)	友人仲間・恋人・同窓会(3)	好きな場所・犬猫・買物・散歩(4)	ｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞ・ｺﾞﾙﾌ・ｴｸｻｻｲｽﾞ他(10)	(1)	国内国外旅行(1)	演奏・絵画・文筆・料理他(6)	ｽﾎﾟｰﾂ・音楽会・美術館他(3)	講座・信仰・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ(4)	(1)	食べることお酒を飲むこと1	ﾃﾚﾋﾞﾗｼﾞｵ・新聞雑誌(2)	ﾋﾞﾃﾞｵCD・読書・ネット(3)	ﾄﾞﾗｲﾌﾞ・ﾂｰﾘﾝｸﾞ(2)
男 51-60歳	①現在行っている	105	83	101	53	14	43	58	59	20	68	74	118	121	63
	②今後（も）行いたい	102	92	104	70	21	49	68	68	25	58	66	99	106	58
	②-①	-3	9	3	17	7	6	10	9	5	-10	-8	-19	-15	-5
男 66-75歳	①現在行っている	137	107	108	45	14	49	80	49	18	40	64	138	86	48
	②今後（も）行いたい	122	109	92	47	19	57	77	67	18	33	51	104	88	43
	②-①	-15	2	-16	2	5	8	-3	18	0	-7	-13	-34	2	-5
女 51-60歳	①現在	97	112	157	34	6	49	111	103	29	66	71	144	130	32
	②今後（も）行いたい	99	115	155	62	11	60	131	114	36	53	68	116	128	27
	②-①	2	3	-2	28	5	11	20	11	7	-13	-3	-28	-2	-5
女 66-75歳	①現在	135	110	131	40	8	50	135	78	28	23	58	149	87	25
	②今後（も）行いたい	117	105	108	41	10	54	116	78	27	16	50	93	76	19
	②-①	-18	-5	-23	1	2	4	-19	0	-1	-7	-8	-56	-11	-6

◎色の意味

【②－①】 10%以上↑　1%以上↑　10%以上↓　【現在・今後】 同性同項目比較で10%以上↑

NEXT OLD ≠ NEW OLD

①次世代シニア（51-60歳）【男性】

人生後半戦へ向けて「続く楽しみ」の発掘と再編。

- 今後の意向「今後（も）行いたい」が、現在行動「楽しいと感じて現在行っている」を大きく上回っている楽しみ群は「スポーツ」「文化 創作 技能習熟」「文化鑑賞 スポーツ観戦」です。共通する要素、それは＜学習性＞や＜継続性＞のある楽しみを広げたいと思っていることではないでしょうか。
  それは、繰り返し行うことで出来なかったことが出来るようになり上手になる、競技や芸術を繰り返し観ることで目利きになる、など小さな達成感を積み重ねながら継続できる楽しみを求めることなのかもしれません。仕事に追われ、時間に追われ、続けられなかった創作活動や演奏活動、やりたかったけど出来ないままだったスポーツなどを含め、自ら続く楽しみを発掘し楽しみへ振り向ける時間を再編していく、そんな意識の萌芽も期待させます。
- 「友人・交流」分野の楽しみを広げたいと思っています。昔のつきあいの再開・つきあう相手の再編欲求もうかがわせます。
- 「四媒体」（マスメディア視聴・閲読）や「読書・音楽・ネット」など日常の中にあるものや、受動的楽しみは今後の意向が現在の行動を下回り、縮むことが予想されます。

②次世代シニア（51-60歳）【女性】

人生後半戦の楽しみを確立、さらなる広げに意欲。

- 今後の意向が現在行動を大きく上回っている項目は男性の次世代シニアと似たような傾向にありますが、より高い意向率を示しています。意向率から現在行動率を減じた差も大きくなっています。今の楽しみ基盤を持ちつつ、さらに楽しみを広げようという意欲をうかがわせます。
- 「家族団欒」や「買物」についてはほぼ現状維持、「四媒体」（マスメディア視聴・閲覧）は、男性同様に縮む傾向にあります。

③現在形シニア（66-75歳）【男性】

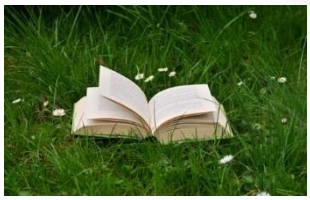
仕事離れ・家族離れで、外界の眺めを楽しむスタイル模索。

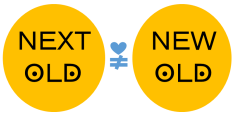
- 今後の意向が現在行動を大きく上回っているのが「文化鑑賞 スポーツ観戦」です。「旅行」もやや増えそうな分野です。一方で「買物 散歩」は今後の意向率が現在行動を下回ります。ここからうかがえるのは＜目的をもった外出＞や、＜文化や景観などの価値ある眺めやコト＞に触れたいという想いではないでしょうか。健康寿命も気になる年代、動けるうちに外に出て充実した時間を過ごしたいという気持ちを感じとることができます。
- 「友人・交流」や「スポーツ」「読書 音楽 ネット」については現状維持といったところです。
- 今後の意向率で現在行動から「四媒体」が大きく縮み、「飲食」「家族団欒」も縮みます。「飲食」については楽しみとしての興味が減るなどが考えられます。また、孫が大きくなり小さい頃のように遊ばなくなる、独立や死別で同居者が減る、などが家族団欒の気持ちを縮ませているのかも知れません。
「四媒体」が大きく縮むのは何故か。そもそもテレビなどが生活の中に馴染みすぎて意向（≒積極的に楽しみを広げたい）という言葉が馴染まないということもありそうです。彼らにとって積極的な意味を見出せるコンテンツが何かを模索することも、これからのメディアの課題かもしれません。

④現在形シニア（66-75歳）【女性】

家族減、体力減の中で、その先の人生を思い描く。

- 既にやりたい楽しみは享受しているということでしょうか？彼女たちにとって今後の意向が顕著に広がる分野は見当たりませんでした。ただし例えば「スポーツ」という分野の中で、その種目や体操の内容を年齢、体力に合わせて入れ替えていくということはあるでしょう。「旅行」は続けたい分野として根強さをうかがわせます。
- 「家族団欒」と「文化 創造 技能習熟」「買物 散歩」は縮みをみせています。配偶者や家族との死別とその予感、体力減少などの変化も関係しているでしょう。人生は着々と次のステージへと向かっています。その準備期を向かえ、今後の楽しみに対する意向が広がらない裏には、次の生活を思い描く女性の姿があるのかもしれません。そんなことも感じさせる調査結果でした。





⑤まとめ：次世代シニアのこれからの楽しみ設計

人生に効く楽しみ。
学びがあり、飽きずに続けられ、人とのつながりが芽生える楽しみ。

「家族団欒」という楽しみが多くの人にとって大切なものであるにせよ、高齢期を迎えると子どもの独立や配偶者との死別など家族環境も変わっていきます。「仕事」を続けるにしても、働き方や楽しみ方は年齢とともに変わります。人間関係についても再構築が求められる時期を迎えます。

そして「楽しみ」を何に求めるのか（種）、「楽しみ」から何が生れるのか（実）、といったことが、ますます大事になる時期ではないでしょうか。これからの人生に効く楽しみは、刹那ではなく、学びがあり、飽きずに続けられ、行為を巡って生きがいや人との新たなつながりが芽生える、そんな楽しみをみつけ（再発見も含め）、深めていくことではないでしょうか。

結びに。

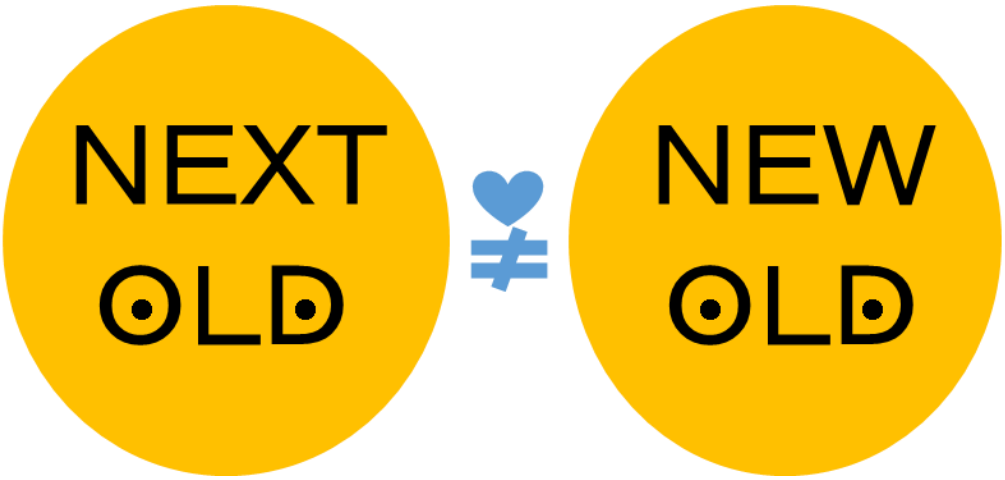
下の写真をご覧下さい。テーブルと椅子、お皿などの食器が並んでいます。
ある人は、椅子に座るのはどんな人たちかを想像します。ある人はテーブルにどんな料理が並ぶのか想像します。またある人は誕生会など何を目的とした集まり=話題は何なのかが気になります。

料理を趣味など「楽しみの分野」に、椅子に座る人を「楽しみでつながる仲間」だと思って下さい。ご自身に当てはめるとお皿には何が並び、椅子には誰が座りますか。話題は何ですか。考えるためのルールは「現状ではなく楽しみのありたい姿を考えること」「椅子や料理の数を気にしない事」「自分は椅子に座ること」です。何をしたらよいかわからない人もやりたいことがありすぎる人も、将来の楽しい時間を想像しながら写真の空白を埋めて見てください。楽しさが広がることを願って。

1927年アメリカで公開され、初の長編トーキー映画ともいわれる「ジャズ・シンガー」の中の、「Wait a minute, wait a minute. You ain’t heard nothin’ yet!」（待ってくれ、待ってくれ、君はまだ何も聴いていない！）という台詞が後に「待ってくれ、待ってくれ、お楽しみはこれからだ！」と翻訳され、名訳としてもしばしば紹介されています。この名台詞をこんな風に読み直してお届けし、第十回を終えたいと思います。最後までお読みいただきありがとうございました。

「待ってくれ、遅すぎることなどない。人生の楽しみは始まっていない。お楽しみはこれからだ！」

NEXT OLD ≠ NEW OLD



Copyright©2017 Research Institute for High-Life

連載第十一回予定

「時代の地層」(仮称)。

公益財団法人ハイライフ研究所